

宮森小ジェット機墜落事故の慰霊祭の前に、平和を考えようとヒマワリを植える同小の6年生ら117日、宮森小学校



慰霊祭前にヒマワリ 宮森小



【つるま】宮森小米軍ジェット機墜落事故が起きた6月30日に、うるま市の宮森小学校で毎年開かれる慰霊祭を前に、事故で亡くなった上間芳武君11当時3年生11が好きな内の業者から寄贈を受けた。上間君は、事故が起きる直前に、花壇からヒマワリの花1輪を当時担任だった吉村佐代子教諭に渡した。吉村さんが「どうして生き生きと咲いているヒマワリをちぎったの」と聞いた

平和考えるきっかけに

つたヒマワリを植えて平和を考えるきっかけにしようと同小の6年生児童が7日、同校で約150本の苗を植えた。慰霊祭の日までヒマワリの花を咲かせたいという。苗と土はNP法人石川・宮森630会と市苗を植えていった。

が、上間君は「先生にあげるよ」と、花を置いて外に飛び出したという。この日は、宮森630会の豊濱光輝会長が、児童たちを上間君の話を紹介。その後、児童らはプランターと鉢に丁寧に